

令和6年4月9日

入学式 式辞（抜粋）

皆さんの入学を心から歓迎いたします。

皆さんは高校入試をはじめ、これまで幾多の試練を乗り越え、晴れて本日を迎えることができました。これは皆さん一人ひとりの努力の成果であることは勿論ですが、これまで皆さんを支え育ててこられた、ご家族をはじめ、多くの方々の愛情とご支援のおかげでもあります。このことをしっかりと心に刻み、「感謝の気持ち」をもって高校生活を踏み出してください。



皆さんが生きる未来は、新たな社会の仕組みや価値観が生まれるなど、大きな変革が続くことでしょう。その未来を、自分で生き抜くための力を高校三年間で身に付けて、「**社会の一員として貢献できる実践的産業人**」を目指してください。

皆さんが高校生活をスタートさせるにあたり、自覚して欲しいことを私から2つお話しします。

先ず、「**人間力を身につける。**」ということです。高校は、中学校までの義務教育とは違い、それぞれが自分の将来の姿を描き、目標を立て、その実現のために自らが学びに向かう場所です。将来自分が希望する職業に就くため、基礎的技術や技能を習得し、心身を成長させるところです。

夢実現のため、人任せにせず、自らが考え、判断し、行動するための「知識」と、それをもって工夫する「知恵」と「実践力」を主体的に身につけようと努めることや、他人の想いを理解し、今在ることへの感謝ができ、自らが想いのある言動を行うなど、人格の成長を促す自己成長によって社会に順応するための「人間力」を身につけて欲しいと思います。

次に「**ポジティブに挑戦する。**」ということです。ある脳科学者や心理学者によると「脳の潜在能力をたった5%~7%しか活用していない。」と発表しています。これは考え方、普段の思考によって右脳と左脳の全領域が活性化されると言われています。よく「モノは考え方次第」と言います。「自分は一つのことしかできない。」といったネガティブな考え方も、「一つのことをすることができる。」とポジティブに考えることで活性化されます。また、「他のことも今から経験して身につける可能性を持っている。」と考えると更に活性化されます。ものは考え方一つです。「今日は疲れた」と口にするだけで、身体は「疲れた」ことを認識するだけです。「今日は充実した」と口にすると身体は「次への可能性」を認識するでしょう。行いも同じように「悪い癖だから」とあきらめていては、人生は変わりません。口癖や考え方など何をするにも最初は努力が必要です。改善の努力を習慣になるまで努めましょう。すると、習慣が行いを変え、行いが将来・未来を変え、人生を変えていくのです。

ぜひ皆さんには「人間力を身につける。」ということと、「ポジティブに挑戦する。」という二つの志を高くもって、高校生活を送ってほしいと思います。